

Alpen Railways - 北陸地方鉄道 個別ルール

Version 1.1 2009-012-04 written by M.Shiojima

はじめに

明治初期、1872 年の新橋－横浜間に日本で最初の鉄道が開業し、続いて大阪－神戸間、札幌－小樽間が開業した。大阪－神戸間の鉄道はまずは京都まで延伸し、難工事の逢阪山トンネルを完成させて 1880 年に大津まで開通、琵琶湖の汽船連絡で長浜までのルートが完成し、さらにロシア方面向けの国際貿易港として開港を予定していた敦賀を目指した。1882 年に日本で 4 番目の鉄道として長浜－敦賀間に鉄道を開業させ、ついに鉄道は北陸地方の入り口に到達した（ただし、1884 年の柳ヶ瀬トンネル開通までは、峠区間は徒歩連絡）。だが、北陸地方を縦断する北陸本線が全通したのはそれから約 30 年後の 1913 年のことだった。敦賀－武生間の山地越えは急坂とスイッチバックの連続だったし、北アルプスを巡回するためには北陸道最大の難所・親不知を越えなければならなかった。完成した路線は時間がかかり過ぎ、完成後も戦後の長大な北陸トンネル建設など、大幅な路線変更を強いられた。

時は移って、大正・昭和に入ると、北陸地方には数多くの私鉄が開業した。戦時中にはそれが 3 つの大きなグループ、京福電気鉄道(京都と福井で約 120 キロ)、北陸鉄道(石川県下約 150 キロ)、そして富山地方鉄道(富山県下約 160 キロ)に統合された。

戦後に入るとモータリゼーションの波が北陸地方にも押し寄せ、大半の私鉄路線が姿を消していった。北陸鉄道は路線の大半を失い、京福は整備費不足から事故を繰り返して、全路線を第 3 セクタのえちぜん鉄道に譲渡し、福井県から撤退した。しかし、富山地方鉄道は立山トンネルを建設して北アルプスを貫く立山－黒部アルペンルートを完成させ、観光客誘致の成功により約 100 キロの路線維持に成功した。富山市内線も LTR として再生が進んでおり、さらに延伸も予定している。また、北陸地方の悲願・北陸新幹線は、2014 年の金沢延伸を目指して、着々と建設が進んでいる。

本書では日本各地を舞台にした鉄道建設ゲーム“Tokyo Railways シリーズ”の第 4 作、“Alpen Railways - 北陸地方鉄道”の個別ルールを記述する。本ゲームの“北陸地方鉄道”という名称は、北陸地方の 2 大私鉄だった“北陸鉄道”と“富山地方鉄道”に由来している。

本書は共通ルールと対になっており、共通ルールの記述とあわせて参照すること。

1.ゲームに含まれているもの

本ゲームには以下のものが含まれている。

- 1) 共通ルール
 - 2) 個別ルール（本書）
 - 3) 北陸の周辺を舞台としたマップ 3 枚
 - 4) 上記のマップ全体を 1 枚にまとめた全体マップ
 - 5) カウンターシート 2 枚
 - 6) 列車札／借金札シート 4 枚
 - 7) 紙幣シート 4 枚
 - 8) 都市名一覧 1 枚
- 1、6、7 は“Tokyo Railways”シリーズの全ゲームで共通である。他ゲームのものを流用してかまわない。
2、3、4、5、8 は個々のゲームで異なるので、本ゲームのものを使用すること。

説明

8 はゲームには直接使用しませんが、参考のために用意しています。

2.初期セットアップ

ゲーム開始時に各プレイヤーに ¥ 1 0 0 G の金額分の紙幣を配布する。

ゲーム開始時にマップ上に中小都市仕事駒を 1 0 枚配置する。大都市仕事駒は配置しない。

「開」と記載された仕事駒（長浜→敦賀）をマップ上に配置する。

3.仕事駒枚数の制限値

マップ上に記載されている仕事駒上限表を参照

4.国際貿易港・敦賀

福井県敦賀市は明治初期に国際貿易港として開港地に指定されていた。このため、敦賀は規模としては中都市だが、大都市以上の重要性を持っていた。本ゲームでは敦賀を港湾都市として以下の点で特別に扱う。

- ・港湾都市からは大都市と同様にプレイヤー自身の線路がつながっていなくても、線路を引き始めることができる。

- ・列車のアップグレード、勝利条件、仕事駒の上限を判定する際には、港湾都市は大都市とは見なさない。

- ・ゲーム開始時に「開」と書かれた長浜→敦賀の仕事駒を配置する。この仕事駒は通常の駒よりも高い報酬を記載してある。

この仕事駒は目的地に到達するかイベントで失われると、ゲームから取り除き、同じゲーム中は二度と登場しない。

5.勝利条件

5.1 路線網条件

路線網条件は参加者の人数により異なる。

- 1) 2/3 人 富山／金沢／福井／岐阜／上越／長野／松本の7都市中6都市
- 2) 4/5 人 富山／金沢／福井／岐阜／上越／長野／松本の7都市中5都市
- 3) 6/7 人 富山／金沢／福井／岐阜／上越／長野／松本の7都市中4都市

5.2 金額条件

金額条件は参加者の人数により以下のように異なる。

2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人
¥900G	¥600G	¥450G	¥350G	¥300G	¥250G

6.イベント

本ゲームのイベントは全て共通ルールで定められたルールに従っている。ルールの詳細については共通ルールを参照。

本ゲームには以下のイベント駒が用意されている。

- 1) 大洪水 - 共通ルールと同じ
- 2) 波浪 - 共通ルールと同じ
- 3) 大雪 - 共通ルールと同じ
- 4) 法人税 - 共通ルールと同じ
- 5) 好況 - 共通ルールと同じ
- 6) 不況 - 共通ルールと同じ
- 7) 脱線事故 - 共通ルールと同じ
- 8) ストライキ - 共通ルールと同じ
- 9) 固定資産税 - 共通ルールと同じ
- 10) 利子 - 共通ルールと同じ
- 11) 整備費 - 共通ルールと同じ
- 12) 初詣シーズン到来
「詣」のマークのついた季節仕事駒を盤上に配置する。
- 13) 史跡ブームの到来
「史」のマークのついた季節仕事駒を盤上に配置する。
- 14) 名勝・景勝地ブームの到来
「景」のマークのついた季節仕事駒を盤上に配置する。
- 15) 登山ブームの到来
「山」のマークのついた季節仕事駒を盤上に配置する。
- 16) 温泉 - 温泉ブーム到来
「温」のマークのついた季節仕事駒を盤上に配置する。
- 17) 帰省 - 帰省シーズン到来
「帰」のマークのついた季節仕事駒を盤上に配置する。
- 18) スキー - スキーシーズンの到来
「ス」のマークのついた季節仕事駒を盤上に配置する。